

# 外国語科学習指導案

日 時 令和6年2月6日(火)  
対 象 第2学年

1 単元名 Lesson 7 You Can Make a Difference  
(COMET English Communication II 数研出版)

## 2 単元の目標

- (1) バリのレジ袋撤廃運動について、概要や要点を把握する。
- (2) 環境のために自分ができることを英語で説明する。
- (3) 過去完了形の用法を理解する。

## 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<知識> 新出語句や過去完了形の用法を理解している。 <技能> バリのレジ袋撤廃運動について読み取ることができる。	①バリのレジ袋撤廃運動について概要や要点を把握している。 ②本文の内容に関連した話題や環境のために自分ができることについて、情報や考えを整理して表現することができる。	①バリのレジ袋撤廃運動について、概要や要点を把握しようとしている。 ②本文の内容に関連した話題や環境のために自分ができることについて、情報や考えを整理して表現しようとしている。

## 4 指導観

### (1) 単元観

本単元は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)第2章、第8節、外国語、第2款 各科目、第2 英語コミュニケーションII、1目標、(2)読むこと、

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

2内容、[思考力、判断力、表現力等]、(3)言語活動に関する事項、①言語活動に関する事項、ウ 読むこと、

ア 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

を受けて設定した。バリのレジ袋撤廃運動について必要な情報を読み取り、自分の考えを書いたり伝えたりするために必要な概要や要点を捉えることを目標とする。

### (2) 生徒観

本校では、「英語コミュニケーションII」の授業を標準クラスと発展クラスに分けて指導しているが、本学級は標準クラスである。標準クラスと発展クラスは、前学期の考査素点によって分けられる。標準クラスの生徒には、英語に対して苦手意識を持つ生徒もいるが、授業には意欲的に取り組む傾向がある。そのため、3学期から生徒同士で教え合い、学びを深めていく機会を増やすことで、生徒の特性を生かした協働的な学びから、学習内容の確かな定着を図っている。しかし、簡単な単語の意味や文法を理解できていない生徒もいるため、全体で文章の意味や考え方を1つ1つ確認する時間もしっかりと設け、スモールステップで本文を読み解く力を高めつつ、生徒が自らの学びを実感できるようにする。

### (3) 教材観

日本でも、2020年にレジ袋有料化が始まり、2022年にはプラスチック資源循環法が施行されるなど、プラスチックゴミの問題に関する意識が高まっている。本単元では、インドネシアのバリ島に住む姉妹が立ち上げたBye Bye Plastic Bags事業を通して、「若者にも世界を動かす力がある」

というメッセージを読み取り、プラスチックゴミという身近なものから環境問題のために自分ができることを考えていく。また、ICTを効果的に活用することで、生徒の理解や授業の進行がスムーズになるようにする。

## 5 年間指導計画における位置付け

学期	単元名	学習内容
第3学期	Lesson 7 You Can Make a Difference (本単元)	題材：環境・生活・社会 言語材料：過去完了形

## 6 単元の指導計画と評価計画(全10時間)

時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価規準(評価方法)		
			ア	イ	ウ
第1時	・ Lesson7 の概要を理解する。 ・ 過去完了形の用法と意味を理解する。	○ Lesson7 の概要理解 ・ 身近な環境問題について簡単な語句や文を用いてやり取りをする。 ○ 言語材料の理解 ・ 過去完了形の用法や意味を理解する。	○		○
第2時	過去完了形を使って、文章を書いたり、相手に伝えたりする。	○ 言語材料の活用 ・ 過去完了形を使って、状況に応じた文章を考え、ペアで意見交換をする。	○		
第3時	バリ島の抱える問題と姉妹の決意について書かれた本文の概要や要点を把握する。	○ 言語材料の理解 ・ 新出単語や熟語の意味を理解する。 ○ Part 1 の概要及び要点の理解 ・ 問題や教員の質問に答え、本文の概要や要点を理解する。	○		
第4時	バリ島の抱える問題と姉妹の決意に関する本文の要点を話したり書いたりすることで、内容の理解を深める。	○ 言語材料の活用 ・ 本文を定着させるための音読練習をする。 ・ ペアでの Q/A や「教え合い」活動を通して、内容理解を深める。 ・ 本文の内容を踏まえ、バリ島について意見交換する。			○
第5時	姉妹の活動の広がりについて書かれた本文の概要や要点を把握する。	○ 言語材料の理解 ・ 新出単語や熟語の意味を理解する。 ○ Part 2 の概要及び要点の理解 ・ 問題や教員の質問に答え、本文の概要や要点を理解する。	○		
第6時	姉妹の活動の広がりに関する本文の要点を話したり書いたりすることで、内容の理解を深める。	○ 言語材料の活用 ・ 本文を定着させるための音読練習をする。 ・ ペアでの Q/A や「教え合い」活動を通して、内容理解を深める。 ・ 本文の内容を踏まえ、環境に優しい製品について意見交換する。			○
第7時	姉妹の活動の成果について書かれた本文の概要や要点を把握する。	○ 言語材料の理解 ・ 新出単語や熟語の意味を理解する。 ○ Part 3 の概要及び要点の理解 ・ 問題や教員の質問に答え、本文の概要や要点を理解する。	○		
第8時 (本時)	姉妹の活動の成果に関する本文の要点を話したり書いたりすることで、内容の理解を深める。	○ 言語材料の活用 ・ 本文を定着させるための音読練習をする。 ・ ペアでの Q/A や「教え合い」活動を通して、内容理解を深める。 ・ 本文の内容を踏まえ、環境保全のためのボランティア活動について意見交換する。			○
第9時	環境のために自分ができることについて、自分の考えをまとめ、相手に伝える。	・ 教科書の原稿例を参考にしながら、環境のために自分ができることをまとめ、ペアで意見交換をする。			○
第10時	パフォーマンステスト			○	○

## 7 指導に当たって

- (1) 学びの内容を確実に定着させるために、インテイクの機会を増やし、インプットとインテイクを踏まえたアウトプット活動に繋げていく。
- (2) 少人数授業の利点を生かし、机間指導で生徒が理解できていない内容を1つ1つ確認することで、基礎知識の定着を継続的に図っていく。
- (3) ペアワークやグループワークの中で、生徒同士で意見を交換し、他者参照の学びにつなげる。
- (4) ICT を効果的に活用し、主体的・対話的に1つ1つの学びが深まるようにする。

## 8 本時(全 10 時間中の第 8 時)

### (1) 本時の目標

姉妹の活動の成果に関する本文の要点を話したり書いたりすることで、内容の理解を深める。

### (2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点 配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 8分	<p>○挨拶・出欠確認 (1分)</p> <p>○帯活動 (7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の音読に続いて、単語とチャンクを音読する。</li> <li>・ペアで3問ずつ単語とチャンクの意味のクイズをする。</li> <li>・1分間、今週の範囲の語句を1つ使って、Whiteboard に英文を入力する。</li> <li>・1分間、他の生徒の英文を確認する。</li> <li>・英作文を振り返り、今回の課題を簡潔にメモする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音に間違いがあれば、繰り返し音読する。</li> <li>・机間指導を行い、発音を確認する。</li> <li>・Teams を開き、「投稿」から今日のWhiteboard を開く。</li> <li>・生徒は付箋を作って、入力する。</li> <li>・良い文を1つ取り上げる。</li> </ul>	
展開 41分	<p>○本時の目標を確認 (1分)</p> <p>○音読 (15分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コーラスリーディング <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に続いて、本文を音読する。本文を1フレーズずつ音読する。</li> </ul> </li> <li>2. ペアリーディング <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで一文ずつ交互に音読する。</li> </ul> </li> <li>3. 穴あきリーディング <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで読む役と確認役を決める。</li> </ul> </li> </ol> <p>読む役：スライドにある空欄や選択部分を答えながら音読する。 確認役：答えを確認したり、相手が分からない時にヒントを出したりする。 →これを交互に実施する。</p> <p>○Q/A アクティビティ (10分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Q/A <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容から質問を提示し、全体に問いかける。</li> </ul> </li> <li>2. Q/A アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで質問役と回答役を決める。</li> </ul> </li> </ol> <p>質問役：Whiteboard で質問を見ながら、回答役に質問する。 回答役：授業プリントのみを見て、質問に回答する。 →これを交互に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Whiteboard で本時の目標を共有し、目標を見据えた学習ができるようにする。</li> <li>・発音に間違いがあれば、繰り返し音読する。</li> <li>・机間指導を行い、発音を確認する。</li> <li>・読む役の子は、プリントや教科書を閉じる。</li> <li>・確認役の子は、プリントや教科書を確認し、相手が答えられないときにヒントを出す。</li> <li>・取り組み状況を確認する中で、各ペアにフィードバックを行う。</li> <li>・答えが出てこない場合、ペアで質問の意味を確認するよう指示する。</li> <li>・Whiteboard で、アクティビティの手順を確認する。</li> <li>・机間指導を行い、取り組み状況を確認する。</li> </ul>	

	<p>○本文の「教え合い」活動（7分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで先生と生徒の役を決める。</li> </ul> <p>先生役：授業プリントを見ながら、自分の言葉で本文の意味やポイントを1文ずつ説明する。</p> <p>生徒役：説明を聞きつつ、自分ならどう説明するか考える。</p> <p>→これを交互に実施する。</p> <p>○Opinion（8分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全のためのボランティア活動について、その活動名と行なっている取組を Whiteboard に入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低限教える内容を提示する。</li> <li>・机間指導を行い、取り組み状況を確認する。</li> <li>・時間が余った生徒は、先生役に質問したり、説明方法について話し合ったりする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見本を2つ提示することで、やるべきことを明確にする。</li> <li>・生徒は付箋を作って、入力する。</li> <li>・何も思い浮かばない場合は、Surface を使って、調べるように指示する。</li> <li>・入力が終わった生徒は、他の生徒の内容を確認する。</li> <li>・終わっていない生徒は、今日の放課後までに入力するよう連絡する。</li> </ul>	ウ①（提出）
まとめ 1分	○振り返り・挨拶		

(3) 板書計画

スライド投影

(4) 授業観察の視点

- ・生徒同士で教え合いながら必要な情報を読み取り、学びを深めていく授業ができていたか。
- ・読解力を向上させる授業ができていたか。
- ・アウトプット活動に向けたインプットやインテイクの機会は十分だったか。